

事業説明シート

事業名		山陰海岸世界ジオパーク推進事業		担当部	生活環境部	
				担当課	緑豊かな自然課	
実施根拠		開始年度		平成20年度		
目的等	【背景】 山陰海岸ジオパークは、平成20年12月に日本ジオパークに認定、平成22年10月には世界ジオパークネットワークに加盟認定された。山陰海岸に存在する地質遺産を保全しながら教育や観光活用を通じて地域の活性化を推進する取り組みが始まった。					
	【目的】 山陰海岸に存在する地質遺産を、地域住民、事業者、行政が協働して保全するとともに、地域の歴史・文化資源と合わせ、地球・地域を理解する教育や普及啓発に努め、魅力的で特徴のあるジオツーリズムをはじめとするジオパークの活動の展開を通じて、地域経済の活性化を図り、持続可能な地域社会の形成をめざす。					
	【成果目標】 ・山陰海岸の地質遺産の適切な保全 ・教育や観光への活用の推進による地域経済の活性化					
	【県が実施しなければならない理由】 三府県域に及ぶ広域的な活動であるため。					
対象 (サービス受給者)		鳥取県民、国内外からの観光客				
事業概要	事業内容 (手段・手法)					
	<ol style="list-style-type: none"> 山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金(4,582千円) 関係自治体(1府2県3市3町)等で組織される協議会への負担金に基づく事業(主なもの) ①PRイベントの実施 エリア内でのフォーラム・フェスティバル・巡回展示や首都圏・京阪神PRキャンペーン、スタンブラリーなど ②ジオツーリズムの推進 モニターツアーの実施、散策モデルコースの策定、ガイド認定制度の創設など ③保護保全活動の推進 ジオサイト(見所)のモニタリング調査、保護保全管理計画策定の推進 ④学術研究等の推進 山陰海岸ジオパークを対象とした学術研究への支援、発表会の開催など ⑤その他普及啓発活動 広報媒体による情報発信(新聞、旅行情報誌等) パンフレット(英語版)、PRグッズ(シャープペン、のぼり旗、缶バッジ等)作成など ⑥ジオパークネットワーク活動の展開 世界ジオパークネットワーク、アジア太平洋ジオパークネットワーク、日本ジオパークネットワークの活動への参加 民間、市町の各種取組に対する補助(4,866千円) 補助率:最大1/2で市町負担額が上限 女子旅モニターツアー(2,003千円) 女性のブロガー・フェイスブック利用者を対象とした個人モニターツアーを実施 ウォーキング大会への補助(1,500千円) 鳥取県内をコースとする山陰海岸ジオパークのウォーキング大会を支援 旅行会社への旅行商品造成の働きかけ(2,500千円) 県外の旅行会社を現地招致し、説明会を開催 隠岐ジオパークとの連携(193千円) 山陰海岸・隠岐ジオパークの周遊型旅行商品造成の推進 もてなしの向上(4,155千円) 電動アシスト自転車の配置、外国人対応職員の配置(砂丘事務所、山陰海岸学習館) その他各種PR事業等(2,429千円) 鳥取空港への電照看板掲示、ジオパークラッピングバスの運行、パンフレット印刷など 					
目的達成に向け、上記の手段・手法を選択した理由		<ul style="list-style-type: none"> ・3府県3市3町にまたがる広域的な活動を、山陰海岸ジオパーク推進協議会が中心となって統一したテーマ、コンセプトに基づき一体的に事業を推進 ・同協議会の活動と連携、協調しながら、各府県、市町が個別の地域対策を推進(受入れ態勢の整備、各地域の事業者の活動支援、イベント開催、旅行商品造成など) 				
事業の実施方法 (国、市町村などを含めて、当該事業を進める上での手続きを記載) ※フローチャート式による記載も可		<ol style="list-style-type: none"> 山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 ①関係府県市町が協議会に負担金を拠出 ②協議会は、その負担金を財源にエリア全体に関わる事業を推進 各種補助金(民間、市町の各種取組に対する補助) ①各団体から県へ補助金を申請 ②県は、内容を審査した上で、補助金を交付 委託事業 ・県から各委託先に委託 その他県が直接実施するもの ・女子旅モニターツアー ・外国人対応職員の配置 ・パンフレット印刷 など 				
25年度 予算額	事業費	69,076千円	(財源内訳)	国庫支出金	その他(雑入)	一般財源
	トータル コスト	100,058千円 [正職員: 3.9人、非常勤職員: 2.0人]				
決算額	年度	事業費		国庫支出金	その他(雑入)	一般財源
	24年度	24,794千円	(財源内訳)	-	18	24,776
	23年度	24,405千円	(財源内訳)	5,878	-	18,527
	22年度	18,931千円	(財源内訳)	1,580	-	17,351

<p>これまでの 事業実績</p>	<p>《協議会事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京阪神地区でのキャンペーンの実施（延べ6回） ・ウォーキング大会の開催（延べ12回、3,886名） ・散策モデルコースの設定、パンフレット作成（20箇所） ・スタンプラリーの開催（2回、829名） <p>《鳥取県事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク活動を推進する団体等の支援（延べ19件） ・旅行会社へのジオツアー造成委託（4社、誘客実績5,198名） ・県外旅行会社の現地説明視察会の開催（延べ21社） ・教員を対象とした研修会等の開催（5回） ・プロガーを対象としたモニターツアーの実施（延べ35名） 				
<p>主な活動実績 (活動量の指標)</p>	<p>活動指標名</p>	<p>単位</p>	<p>22年度</p>	<p>23年度</p>	<p>24年度</p>
	<p>散策モデルコースの設定</p>	<p>箇所</p>	<p>—</p>	<p>8</p>	<p>12</p>
	<p>うち鳥取県内のコース</p>	<p>箇所</p>	<p>—</p>	<p>4</p>	<p>4</p>
	<p>ガイド交流会の開催</p>	<p>回</p>	<p>3</p>	<p>7</p>	<p>7</p>
	<p>うち鳥取県内での開催</p>	<p>回</p>	<p>2</p>	<p>6</p>	<p>5</p>
	<p>ウォーキングイベントの参加者数</p>	<p>人</p>	<p>1,135</p>	<p>605</p>	<p>1,590</p>
	<p>スタンプラリーの参加者数</p>	<p>人</p>	<p>—</p>	<p>406</p>	<p>423</p>
	<p>ジオパークロゴマークの使用承認件数</p>	<p>件</p>	<p>103</p>	<p>151</p>	<p>137</p>
	<p>各種取組に対する鳥取県の補助件数</p>	<p>件</p>	<p>3</p>	<p>9</p>	<p>19</p>
<p>主な成果実績 (目的の達成度を図る物 差し)</p>	<p>成果指標名</p>	<p>単位</p>	<p>22年度</p>	<p>23年度</p>	<p>24年度</p>
	<p>観光客入込数（鳥取砂丘・いなば温泉郷・浦富海岸・岩井温泉周辺）</p>	<p>千人</p>	<p>2,900</p>	<p>2,886</p>	<p>3,368</p>
	<p>山陰海岸ジオパーク主要6施設の入込数</p>	<p>人</p>	<p>395,989</p>	<p>411,293</p>	<p>358,344</p>
	<p>うち鳥取県内の施設</p>	<p>人</p>	<p>44,947</p>	<p>43,604</p>	<p>42,108</p>
	<p>京阪神における山陰海岸ジオパークの認知度</p>	<p>%</p>	<p>—</p>	<p>40</p>	<p>51</p>
<p>事業の自己評価 (今後の方向性、 課題等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークの認知度も高まりつつあり、観光入込み客数も増加傾向にある。 ・観光誘客の増加により、地域における新たな雇用の創出も現れてきている。 ・クリアカヌーやツリーイングなどの新たな体験サービスが始まるなど、地域の取り組みも活発化しつつある。 ・山陰海岸ジオパークは全国でも唯一の複数府県にまたがるジオパークエリアであり、その一体的な取り組みや活動は国内外の関係者からも高く評価されている。 ・国内外のジオパーク関係者や研究者の交流も活発化しており、平成27年には世界ジオパークの国際会議を山陰海岸で開催を予定するなど、国際的な広がりとなりつつある。 ・平成26年度には世界ジオパークネットワーク再審査が予定されており、地域の活性化の取り組みの成果が求められている。 				
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク活動は全国的な広がりとなってきており、平成25年7月現在、45地域、32都道府県に及ぶ。 ・ジオパークのユネスコとの関わりは「ユネスコの支援プログラム」となっているが、現在、ユネスコの正式プログラム化に向けての検討がなされており、正式プログラムとなれば世界遺産と同じカテゴリに位置づけられることから、関係者の期待が高まっている。 				

山陰海岸ジオパークについて

緑豊かな自然課

1 目的

山陰海岸に存在する地質遺産を、地域住民、事業者、行政が協働して保全するとともに、地域の歴史・文化資源と合わせ、地球・地域を理解する教育や普及啓発に努め、魅力的で特徴のあるジオツーリズムをはじめとするジオパークの活動の展開を通じて、地域経済の活性化を図り、持続可能な地域社会の形成をめざすことを目的とする。

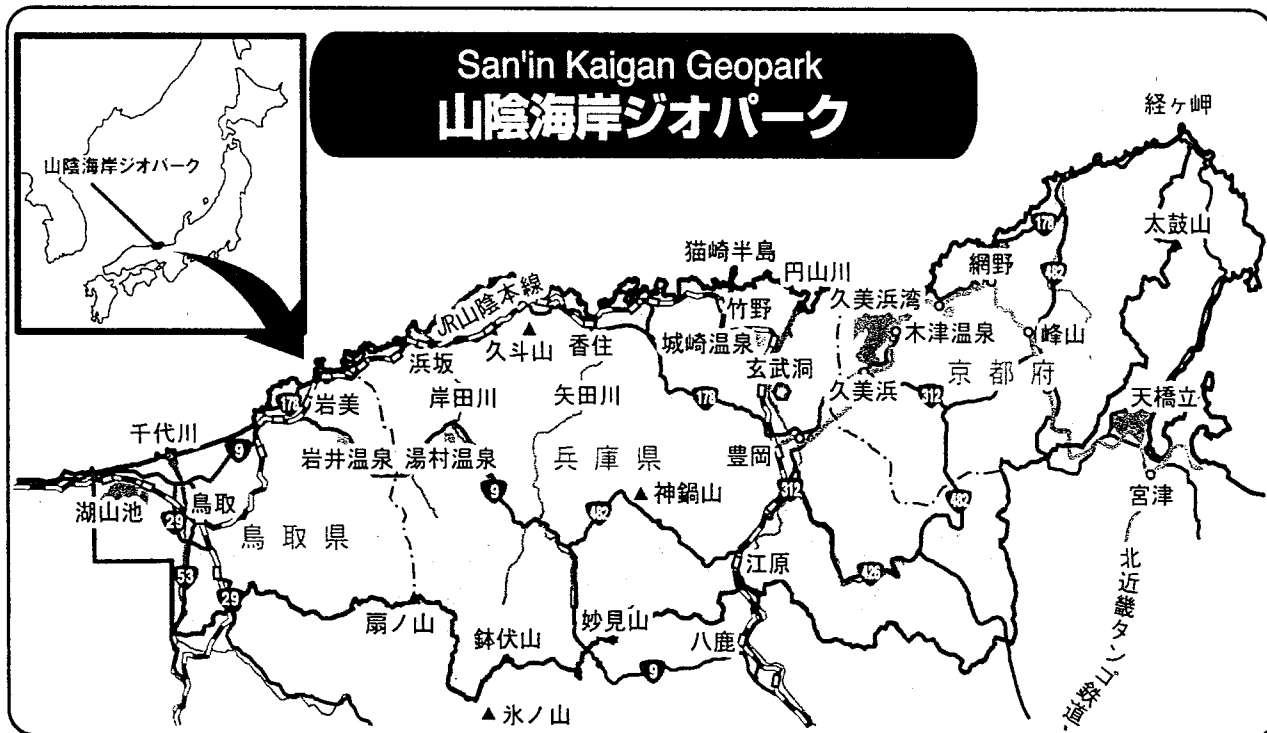
2 テーマ・特徴

山陰海岸ジオパークは、約 2,500 万年前にさかのぼる日本海形成に関わる多様な火成岩類や地層、日本海の海面変動や地殻変動によって形成されたリアス式海岸や砂丘をはじめとする多彩な海岸地形など、貴重な地形・地質遺産を多く観察することができる。ジオパークのエリア内は、古くから人々の生活の場となっており、多彩な自然を背景にした人々の文化・歴史を学ぶことができる。

山陰海岸ジオパークでは、このような特徴を活かし、地域のジオツーリズムを通じた自然遺産の保全と地域活性化につながる活動を展開する。

■ジオパークテーマ： 日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし

3 範囲



4 経緯

- H19. 7. 16 山陰海岸ジオパーク推進協議会設立
- H20. 7. 17 世界ジオパークネットワーク（GGN）国内候補地域申請
- H20. 10. 20 GGN国内候補地域から外れる
- H20. 12. 8 日本ジオパークに認定
- H21. 1. 5 山陰海岸ジオパーク推進協議会の体制強化
- H21. 2. 20 日本ジオパーク記念式典（日本ジオパーク認定証授与）
- H21. 5. 16 日本ジオパークネットワーク（JGN）設立
- H21. 6. 18 GGN国内候補地域申請（再申請）
- H21. 10. 28 GGN国内候補地に選定
- H22. 8. 1～4 GGN委員による現地審査
- H22. 10. 4 GGN加盟認定

5 推進体制

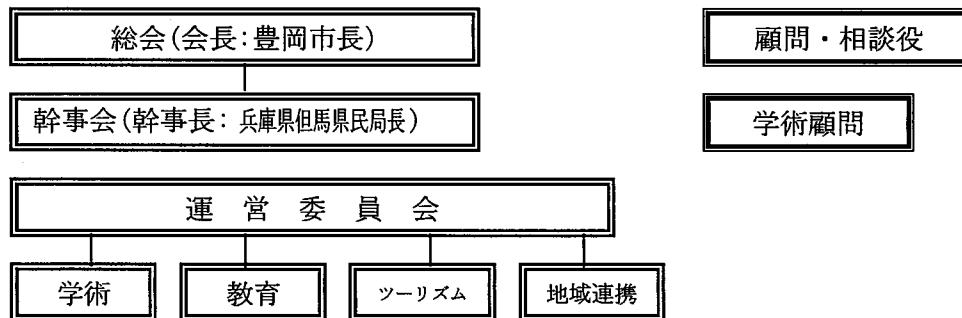
山陰海岸ジオパーク推進協議会（加入団体：1府2県、3市3町、28団体、計37団体）

会 長：中貝宗治（豊岡市長）

副会長：中山 泰（京丹後市長）、竹内 功（鳥取市長）、浜上勇人（香美町長）
岡本英樹（新温泉町長）、榎本武利（岩美町長）

顧 問：山田啓二（京都府知事）、井戸敏三（兵庫県知事）、平井伸治（鳥取県知事）、
相談役：岩槻邦男（兵庫県立人と自然の博物館名誉館長）

学術顧問：竹内芳親（鳥取大学名誉教授）、西田良平（鳥取大学名誉教授）
波田重熙（神戸大学名誉教授）



6 主な取り組み

(1) 認知度の向上

区分	平成24年度事業	備考
京阪神キャンペーン	山陰海岸ジオパークをPRするため、京阪神主要駅でパネル展示、パンフレット配布等のPRイベントを実施	平成24年度実施状況 京都駅(6/23)、三宮駅(6/30) 大阪駅(7/14)
ジオパークフェスティバル	パネル展示、体験ブース、ゲームコーナー等を開催し、山陰海岸ジオパークをPR	実施日：H24/11/17～18 実施場所：コウノトリ但馬空港

(2) 調査・保全活動上

モニタリング調査	ジオサイトのモニタリング調査結果をもとに、ジオサイトの保護保全と活用を検討	全ジオサイト 94カ所の保全状況、さらなる活用の可能性等について調査分析を実施
学術研究奨励事業	山陰海岸ジオパークを対象とした学術調査及び研究に対する支援を実施	平成24年度は鳥取砂丘の形成に関する研究など11件

(3) ジオパークの教育・観光活用

教育面での活用	子ども向けジオパーク学習パンフレットを作成	H23年度は体験学習教材(すごろく・かるた)を開発
山陰海岸ジオパーク女子旅モニターツアー (鳥取県単独事業)	女性ブロガーが企画した「山陰海岸ジオパーク女子旅」体験記をブログ等で情報発信しWEB上での認知度向上を図る 実施期間：H24/6～H25/1 モニター数：前期16名(6～9月) 後期19名(10～1月)	・facebookサイト、及び女子旅レポートのまとめサイトを作成 ・後期からはパワーブロガー枠を設定(5名) ・検索サイトでの「ジオパーク+女子旅」の検索結果上位100件で山陰海岸がヒット
山陰海岸ジオパークスタンプラリー	山陰海岸ジオパークエリア内の関連施設を巡るスタンプラリーを開催 実施期間：H24/7/21～1/31 ※H24は隠岐のポイントを新設	・隠岐ジオパークのスタンプラリー「隠岐宝島伝説」にも山陰海岸のポイントを設置
山陰海岸ジオパーク110kmウォーク	山陰海岸ジオパークエリア全域がコースのウォーキング大会を開催 (エリア内の他団体主催イベントと連携してスタンプラリー形式で実施)	協議会主催事業：3大会 他団体主催事業：14大会
散策モデルコースの設定	ジオサイトを数時間で散策するモデルコースを設定し、パンフレット等を配布する。	平成23年度までに20コースと設定(うち鳥取県8)
シンボル列車の運行	三府県を横断するジオパークのシンボル列車(ジオパークディスカバリー)を運行 日時：H24/10/20(土) 区間：天橋立～久美浜～城崎～鳥取	・姫路、神戸発着の日帰り及び一泊プラン ※計85名参加

(4) ネットワーク活動の推進

山陰海岸ジオパーク国際会議	ジオパーク研究や活用をテーマとした国際的学術会議を開催	実施日：H24/11/23～24 実施場所：湯村温泉
国際会議の誘致	ジオパーク国際会議(アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム)を山陰海岸で開催	平成27年(2015)開催予定

山陰海岸ジオパーク主要6施設の入込数

平成25年8月16日
緑豊かな自然課

(単位:人)

	道の駅てんきてん き丹後 【京丹後市】	琴引浜鳴き砂文化 館 【京丹後市】	玄武洞公園案内 所 【豊岡市】	新温泉町山陰海 岸ジオパーク館 【新温泉町】	岩美町立渚交流 館 【岩美町】	鳥取県立博物館 付属山陰海岸学 習館 【岩美町】	合計
H21年度	114,590	12,684	196,000	9,074	2,001	10,237	344,586
H22年度	114,654	11,711	206,000	18,677	5,863	39,084	395,989
H23年度	117,344	11,769	216,000	22,576	9,592	34,012	411,293
H24年度	112,693	9,599	170,000	23,944	10,262	31,846	358,344

※各施設ごとにカウント方法が異なります。

平成25年度 山陰海岸ジオパーク関係予算の状況

平成25年8月16日

緑豊かな自然課

(単位:千円)

項目	協議会	京都府	兵庫県	鳥取県	京丹後市	豊岡市	香美町	新温泉町	鳥取市	岩美町
推進協議会 負担金	/	2,657	7,618	4,582	2,657	3,058	2,531	2,030	2,981	1,601
会議・フォー ラム 開催	500		2,500		188	1,000			36	
ジオパークイ ベ ン ト 催 進	5,150			32,482	2,246		700	880	500	200
ジオツーム 推進	2,160	1,000	496	24,745		6,000	450	609	428	425
学術・調査研 究	7,500		7,806							
環境学習・教 育	400			3,619	80		685	161	3,659	1,240
保護保全活 動推進	1,150				5,594			8,997		
ガイド養成	150			1,830		28,404	1,274			23
普及啓発	3,830			5,150	5,050	4,954	2,047	220	1,576	4,532
ジオパーク ネットワーク 活動	4,470				467	432	460	356	516	327
施設整備、案 内板整備等		1,923 +α	7,250	119,743	10,081	73,894	2,300	18,323	11,980	4,111
その他経費	11,059		6,581	21,593	275	4,927	30	2,112	13,271	1,904
合計	36,369	5,580 +α	32,251	213,744	26,638	122,669	10,477	33,688	34,947	14,363

平成24年度 山陰海岸ジオパーク関係予算の状況

平成25年8月16日

緑豊かな自然課

(単位:千円)

項目	協議会	京都府	兵庫県	鳥取県	京丹後市	豊岡市	香美町	新温泉町	鳥取市	岩美町
推進協議会 負担金	/	2,657	7,618	4,582	2,657	3,058	2,531	2,030	2,981	1,601
会議・フォーラム 開催	500		2,500					1,050	36	
ジオパークイ ベント開催	6,350			3,531	835		650	200	2,460	200
ジオツーム 推進	2,200		496	16,827		10,018	600	442	9,671	1,230
学術・調査研 究	9,250		7,824					1,996		
環境学習・教 育	400			1,324	75			142	3,517	
保護保全活 動推進	450					300		522	1,220	
ガイド養成	1,400				1,792	16,643	1,490	3,311		85
普及啓発	2,000			24,744	2,371	2,647	1,721	794	1,910	2,600
ジオパーク ネットワーク 活動	3,600						550	425		
施設整備、案 内板整備等	0	2,843	18,500	26,575	4,182	29,877	4,635	10,895	1,325	5,995
その他経費	9,724		6,203	17,002	188	3,001		814	1,335	3,464
合計	35,874	5,500	43,141	94,585	12,100	65,544	12,177	22,621	24,455	15,175

平成23年度 山陰海岸ジオパーク関係予算の状況

平成25年8月16日

緑豊かな自然課

(単位:千円)

項目	協議会	京都府	兵庫県	鳥取県	京丹後市	豊岡市	香美町	新温泉町	鳥取市	岩美町
推進協議会負担 金		2,657	7,618	4,582	2,657	3,058	2,531	2,030	2,981	1,601
会議・フォーラム 開催	500		2,500	293	302	939	30	50	281	
ジオパークイベント 開催	6,000			1,342	517	2,000	607			
ジオツアー 推進	2,500	5,000		8,000	316	6,936	740	3,000	1,487	1,450
学術・調査研究	12,000		10,625	150			2,324			
環境学習・教育				2,214					3,360	328
保護保全活動 推進					514	750	600			
ガイド養成	1,000				5,738	18,475	1,098		146	100
普及啓発	2,500			4,510	3,013	400	1,920		3,236	4,053
ジオパークネット ワーク活動										
施設整備、案内 板整備等		3,343	14,000	20,289	2,001	200	1,964	20,830	14,894	1,762
その他経費	5,503		401	23,964	2,200	238	3		3,000	5,817
合計	30,003	11,000	35,144	65,344	17,258	32,996	11,817	25,910	29,385	15,111